

令和8年度 神山中学校

サキドリ研究校事業計画

生徒の「主体性」と「当事者性」を育む新たな学校教育の挑戦

取組の背景と目的

一過性で終わらない「繰り返し」の学びへ

これまで取り組んできたキャリア教育や生徒会活動、ふるさと教育により、生徒の主体性育成には確かな成果が見られました。

一方で、従来の取り組みは学校行事の際に「一過性」で終わる傾向が見られました。生徒が繰り返し体験し、自ら学びを深める機会の創出が必要です。

地域や自分の状況を踏まえ、「何のために、どのような学びを届けるか」を再構築します。



本取組で育てたい4つの力



創造力

自らの興味・関心や地域の課題から、新しい視点で発想し、独自のアイデアを生み出す力。



協働力

多様な意見を尊重し、仲間や地域の方々と対話し、力を合わせて目標へ向かう力。



行動力

頭で考えるだけでなく、計画を立て自立してアイデアを現実の形へと動かす力。



精神力

失敗や変化を恐れず、課題やリスクに対面しても粘り強く立ち向かうしなやかな心。

具体的な枠組みと時間の創出

35時間

年間探究時間の創出

国・数・社・理・英・体・総
(各-5時間) × 7教科

縦割り班による裁量時間の実践

■ ホワイトボード・ミーティング®の活用

可視化された対話手法を導入し、生徒主導で円滑な課題解決の企画・運営・振り返りを行います。

■ 異学年縦割り班での協働学習

学年を超えたチーム編成により、多角的な視野で地域や学校のテーマに主体的に取り組めます。

生徒が「コト」を起こせるプログラム



「コト」を起こしたくなる体験

自分の「好き」を見つけ・語る体験の提供

先輩や社会人の生き方から学ぶ機会の創出



「コト」を起こす力を育む実践

ホワイトボード・ミーティング®や生成AIを活用した対話力の向上と、生活・地域課題解決への挑戦



課題解決スキルの習得プログラム

アントレプレナーシッププログラムおよび小中高一貫AIリテラシー教育実証事業の推進

追求する3つの研究課題



① アントレプレナーシップ教育の視点

起業家精神の視点を取り入れ、新たな価値を創造する態度やチャレンジ精神を学校教育全体で育成する方法を探究します。



② 生成AI等を活用した対話力の向上

生成AI等の先端技術を思考のパートナーとして活用し、生徒同士の議論や思考の深まり、対話力を効果的に高めます。



③ 地域・大学等の連携強化

地域社会や大学等の教育機関と密に連携し、学校の枠を超えたりアルで持続可能な学びのプラットフォームを構築します。

校内研究組織の体制と役割

組織名

メンバー / リーダー

主な役割と業務

サキドリ研究推進 チーム

林美津子
(サキドリ研修主任)

吉成勇哉 (メンター)
海老名正規、橋本隆、都
留友里愛、高橋敬治、坂
東優子

- ・年間計画作成、進捗管理・授業検討
- ・外部講師の選任および派遣依頼
- ・保護者や地域への広報・周知
- ・全体成果の確認と課題検討

メンターチーム

吉成勇哉 (リーダー)
敷田直実、河野くるみ、
板東朗大、田中颯、森友
紀美、藤本麻衣

- ・「追求する課題」及び「育てたい力」の研究
- ・上記を意識した授業構想の実践的研究
- ・課題解決に向けた外部講師活用法の研究

外部サポートチームとの連携

🗣️ 対話力向上

鳴門教育大学 濱田雅子氏（ホワイトボード・ミーティング®認定講師）

🌱 アントレプレナーシップ教育

神山まると高専 五十棲浩二氏/
徳島大学 石原佑氏 /
株式会社まつりば 森真悠子氏

🎯 キャリア教育

一般社団法人神山つなぐ公社

📖 教員研修

MIKAILab代表取締役 松坂孝紀氏 /
徳島県教委 横畠亜希子氏

